

第9回

日本静脈経腸栄養学会

北海道支部例会

支 部 長 信岡 隆幸 (札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座)

当番世話人 日下部 俊朗 (東札幌病院 消化器内科)

日時：平成28年1月23日(土)

午前9時00分～午後3時36分

場所：ホテルさっぽろ芸文館 3階 瑞雪の間

札幌市中央区北1条西12丁目

1. 発表時間：口演時間5分 討論時間2分 (時間厳守)
2. シンポジウム：口演時間5分 (時間厳守)
3. 発表形式：全演題PCプレゼンテーション
(詳細は裏面に記載がございます)

JSPEN 日本静脈経腸栄養学会北海道支部会事務局

札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座内
〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
TEL：011-611-2111 (内線3281)
FAX：011-613-1678

参加の方々へのご案内とお願い

1. 開 場

受付、PCデータ受付は午前8時30分より開始します。

2. 参加費

ホテルさっぽろ芸文館3階の受付で参加費（医師2,000円、医師以外1,000円）を納め、ネームカード（参加証、領収書兼用）を受け取り、氏名・所属をご記入ください。

3. 発 表

- ・発表は、パソコンによるプロジェクター1面映写（解像度はXGA 1024×768）です。
- ・事務局で用意するパソコンの OSはWindows 7、対応するアプリケーションソフトはWindows版 Microsoft Power Point 2007, 2010, 2013です。
- ・動画を利用して講演をされる場合は、ご自身のパソコンをご用意ください。
- ・音声のご使用はできません。
- ・発表開始30分前までにデータ及びパソコンをPCデータ受付にて確認をお願いします。

●メディアをご持参の場合

- ・発表データは、CD-RまたはUSBフラッシュメモリーをご用意ください。
- ・フォントはWindows標準フォント（MS・MSP明朝、MS・MSPゴシック、Time new Roman、Century等）をご使用ください。
- ・事務局で用意したパソコンにコピーし、動作の確認をお願いします。メディアは、その場でご返却します。発表データは本会終了後、本会事務局が責任をもって消去します。
- ・発表データのファイル名は『演題番号－名字』で保存してください。
例：43-鈴木

●パソコンをご持参の場合

- ・事務局で用意するのは、通常のMini D-sub15ピンに対応する端子のみとなります。Mini D-sub15ピンに変換が必要なパソコンの場合は、必ず変換コネクタをご持参ください。（発表、準備中にバッテリー切れになる場合がございます。電源アダプターも必ずをご用意ください。）なお、PC本体と付属品は、発表終了後、会場内で返却します。
- ・スマートフォン、i-pad等でのデータ持込み及びHDMIでの送付は対応しておりません。
- ・パソコンのスクリーンセーバー、省電力機能、ウイルス駆除ソフト等が作動しないように設定をご確認ください。

●ご発表について

- ・発表開始時間の15分前までに、次演者席に着席ください。
- ・発表時間は、5分、質疑応答は、2分です。スライド枚数の制限はございませんが、発表時間を厳守してください。演台上にモニター、マウス、キーボードをご用意しておりますので、ご自身で操作し発表してください。（レーザーポインターは事務局でご用意しております。）
- ・発表中は青色ランプ、終了1分前に黄色ランプ、終了時に赤色ランプが点灯します。

ランチオンセミナー

1月23日(土) 12:00 ~ 13:00

ホテルさっぽろ芸文館 3階 瑞雪の間

『がん緩和と栄養』

講師：片山 寛次

福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター長

座長：日下部 俊朗

東札幌病院 消化器内科

共催：第9回日本静脈経腸栄養学会北海道支部会
アボットジャパン株式会社

プログラム

開会の辞 9:00~9:05

東札幌病院 消化器内科 日下部 俊朗

Session 1 9:05~9:47

座長 函館五稜郭病院 臨床検査科 目黒 英二
栗山赤十字病院 医療技術部栄養課 真井 睦子

1. 強直性脊椎骨増殖症で経鼻栄養をしながら嚥下リハを行った一例
済生会小樽病院 リハビリテーション室¹⁾、外科²⁾
○須藤 榮¹⁾、西谷 淳¹⁾、長谷川格²⁾
2. 介護老人保健施設における認知症と嚥下障害、低栄養の関連性
医療法人社団 介護老人保健施設 麓華苑 摂食嚥下チーム¹⁾、医療法人社団 館歯科医院²⁾
○三島章裕¹⁾、館 宏^{1,2)}
3. 脳卒中発症後の時間経過と経管離脱・普通食移行状況の検討
中村記念病院 耳鼻咽喉科
○小西正訓
4. 経口栄養補助食品導入により難治性褥瘡が改善した一例
市立根室病院
○滝川美幸、三國 綾、山田友佳、安藤地久子、箭浪智之、川村紀代美、本間賢太
川本雅樹
5. 食形態の共有を目指した取り組み～昨年からの経過報告～
洞爺温泉病院 NST¹⁾、大川原脳神経外科病院 NST²⁾、三愛病院 NST³⁾
製鉄記念室蘭病院 NST⁴⁾、JCHO登別病院 NST⁵⁾、老健母恋⁶⁾、白鳥ハイツ⁷⁾
市立室蘭総合病院 NST⁸⁾
○相馬梨沙¹⁾、石川圭吾²⁾、安達輝重³⁾、下国 心⁴⁾、土屋浩子⁵⁾、篠原めぐみ⁶⁾
紺谷はな乃⁷⁾、川畑盟子⁸⁾、佐々木賢一⁸⁾、水谷一寿¹⁾、三上淳一¹⁾、中谷玲二¹⁾
6. 当院における嚥下食提供の現状～摂食嚥下障害患者の食事を考える
札幌医科大学附属病院
○仲 詩織、巽 博臣、荒川朋子、尾形早百合、白石沙耶可、三木彩子、猪口瑞代
土岐めぐみ、石崎千順、藤井由美子、相原伸子、信岡隆幸

Session 2 9:47~10:29

座長 札幌清田病院 内科 村松 博士
洞爺温泉病院 栄養課 相馬 梨沙

7. PEGを施行した後に栄養状態が悪化した症例の検討

国立病院機構 旭川医療センター 総合内科¹⁾、消化器内科²⁾

○横浜吏郎¹⁾、安部 茂¹⁾、松本学也¹⁾、安尾和裕¹⁾、辻 忠克¹⁾、高添 愛²⁾
齊藤裕樹²⁾、柏谷 朋²⁾、平野史倫²⁾、西村英夫²⁾

8. ガストログラフィン併用による安全なPEG造設

溪和会江別病院 消化器科¹⁾、外科²⁾

○小橋重親¹⁾、大森一吉²⁾

9. 粘度400mPa・sの濃厚流動食に対する経腸栄養ポンプ使用の安全性

札幌医科大学 医学部 集中治療医学¹⁾、消化器・総合、乳腺・内分泌外科²⁾

札幌医科大学附属病院 薬剤部³⁾、看護部⁴⁾、検査部⁵⁾、歯科口腔外科⁶⁾、栄養管理センター⁷⁾

札幌医科大学 医学部 腫瘍・血液内科⁸⁾

○巽 博臣¹⁾、升田好樹¹⁾、秋月恵美²⁾、高橋和也³⁾、菊池敦子³⁾、舘山三紀子⁴⁾
川村明子⁴⁾、石崎千順⁴⁾、望月真希⁵⁾、梅森祥央⁵⁾、水野愛理⁶⁾、三木彩子⁷⁾
荒川朋子⁷⁾、井山 諭⁸⁾、信岡隆幸²⁾

10. 胃瘻造設後2年経過しシャント感染をおこしたPEG/VPシャント症例

札幌しらかば台病院¹⁾、札幌しらかば台病院 NST²⁾

○菊地剛史¹⁾、丸山えり子²⁾、大嶋美保²⁾、小日向真澄²⁾、星 百美²⁾、保月隆良²⁾
吉田幸成²⁾、足立 靖¹⁾、遠藤高夫¹⁾

11. 看護手順を作成した簡易懸濁法の統一

札幌市病院局 市立札幌病院 看護部看護課

○小原亜貴子、佐藤明代、細渕佳代

12. 胃瘻造設に向け地域で関わり、在宅生活の継続が可能となった1例

江別市立病院 NSTチーム¹⁾、外科²⁾、内科³⁾、看護部⁴⁾、栄養科⁵⁾、薬剤科⁶⁾、臨床検査科⁷⁾

○三宅由佳^{1,4)}、今野麻里子^{1,5)}、藤川里美^{1,5)}、笹田康子^{1,5)}、山口春奈^{1,5)}
桑原美恵子^{1,4)}、奥井一恵^{1,4)}、土居 恵^{1,4)}、多田和代^{1,4)}、多田 誠^{1,6)}
木村輝海^{1,6)}、佐藤綾子^{1,7)}、濱田修平³⁾、葛西孝健^{1,3)}、角谷昌俊^{1,2)}

Session 3 10:29~11:18

座長 札幌医科大学 医学部 集中治療医学 巽 博臣
北光記念病院 看護部 渡邊なつき

13. 経管栄養を施行した血液透析患者3症例の考察

済生会小樽病院

○安達秀樹、中山祐子、多田梨保、東 紗貴、權城 泉、西谷 淳、須藤 榮、笠井一憲
鈴木景就、逢坂裕美子、辻田早苗、長谷川格

14. 簡易間接熱量計の有用性が示唆された重症広範囲熱傷の1症例

北海道大学病院 検査・輸血部¹⁾、栄養管理部²⁾、薬剤部³⁾、看護部⁴⁾、リハビリテーション科⁵⁾
北海道大学大学院薬学研究院 臨床病態解析学分野⁶⁾

○岩井孝仁¹⁾、安田慶子¹⁾、吉田ゆか²⁾、大瀧香菜子³⁾、菅野 香⁴⁾、岩崎澄央¹⁾
市川絢子¹⁾、三谷麻子¹⁾、和田妙子¹⁾、大沼麗子¹⁾、渋谷 斉¹⁾、磯山浩孝⁵⁾
加畑 馨¹⁾、清水 力¹⁾、武田宏司⁶⁾

15. 終末期がん患者におけるThiamine(ビタミンB1)投与が及ぼす影響に関する検討

東札幌病院 薬剤課¹⁾、栄養課²⁾、内科³⁾

○加藤遥平¹⁾、齋藤香織²⁾、板倉育子²⁾、日下部俊朗³⁾

16. くも膜下出血、開頭clipping術後の栄養管理

社会医療法人 中村記念病院

○伊藤洋平、村橋威夫、小西正訓、宮崎裕子、大西 晴、瀬尾善宣、中村博彦

17. 透析患者の栄養評価と今後の対策

栗山赤十字病院 医療技術部栄養課¹⁾、看護部²⁾、医療技術部臨床工学科³⁾、内科⁴⁾

○真井睦子¹⁾、成田則子²⁾、田代実佳²⁾、遠藤秀介³⁾、石塚広司⁴⁾

18. バルーン法により経口摂取が可能となった1症例

溪和会江別病院 リハビリテーション科¹⁾、消化器内科²⁾

○白石温子¹⁾、小橋重親²⁾

19. 低蛋白経腸栄養剤の慢性腎臓病(CKD)に対する有用性

溪仁会 札幌西円山病院

○小村博昭、柴原知子、浦 信行

ミニシンポジウム 13:10~14:00

座長 市立室蘭総合病院 外科 佐々木賢一
東札幌病院 栄養課 板倉 育子

20. がん終末期患者における電解質異常の実際

社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台記念病院 緩和ケアセンター

○児玉佳之

21. 緩和ケアにおける管理栄養士の役割と、栄養サポートの意義

洞爺温泉病院 栄養課¹⁾、リハビリテーション課²⁾、薬局³⁾、緩和ケア⁴⁾

○相馬梨沙¹⁾、藤岡琴美¹⁾、奥山ちひろ¹⁾、玉川正人²⁾、水谷一寿³⁾、小里裕美⁴⁾
岡本拓也⁴⁾、中谷玲二⁴⁾

22. 緩和ケア病棟での食事への援助ーオーダー食の取り組みについてー

札幌清田病院 栄養課¹⁾、NST²⁾、外科³⁾、内科⁴⁾

○藤原朱美^{1,2)}、岩田園美^{1,2)}、細貝智一²⁾、久保朋子²⁾、矢野智之³⁾、岡本哲郎⁴⁾
村松博士²⁾、後藤義朗²⁾

23. 緩和ケアにおける食べることへの支援の実践

東札幌病院 栄養課¹⁾、内科²⁾

○橋口絵里¹⁾、板倉育子¹⁾、日下部俊朗²⁾

24. がん化学療法中の患者に対する味覚調査を試みて

市立室蘭総合病院 医局 栄養科¹⁾、NST²⁾

○関川由美¹⁾、川畑盟子^{1,2)}、早坂ゆかり^{1,2)}、平岡彩子^{1,2)}、堺有紀乃^{1,2)}、星野裕子^{1,2)}
本間史織^{1,2)}、浅野由美子²⁾、河原林治朗²⁾、吉田倫子²⁾、古内久美子²⁾、会津美和²⁾
宇野智子²⁾、奥谷浩一²⁾、佐々木賢一²⁾

Session 4 14:00~14:49

座長 社会医療法人社団カレスサポート 時計台記念病院 緩和ケアセンター 児玉 佳之
市立室蘭総合病院 医局 栄養科 川畑 盟子

25. NST介入によりリフィーディング症候群を回避できた一症例

旭川医科大学病院 NST¹⁾、栄養管理部²⁾、消化器内科・血液腫瘍制御内科³⁾、看護部⁴⁾
薬剤部⁵⁾、臨床検査輸血部⁶⁾

○斉藤文子¹⁾、藤谷幹浩^{1,3)}、工藤紘子^{1,4)}、山下恭範^{1,5)}、新関紀康^{1,6)}

26. NST回診に対する患者側からの評価

札幌医科大学附属病院 栄養管理センター¹⁾、NST²⁾

○猪口瑞代¹⁾、巽 博臣²⁾、荒川朋子¹⁾、白石沙耶可¹⁾、三木彩子²⁾、秋月恵美²⁾
館山三紀子²⁾、石崎千順²⁾、川村明子²⁾、高橋和也²⁾、菊池敦子²⁾、水野愛理²⁾
望月真希²⁾、梅森祥央²⁾、信岡隆幸²⁾

27. NST回診における薬剤の減量を意識した薬剤師介入の成果

社会医療法人社団カレスサポート 北光記念病院

○高橋 豊、飯坂美香、河村奈緒子、川岸志津、田村美香、渡邊なつき、皆川七穂
今井智瑛、鈴木丈二、櫻井正之

28. 砂川市立病院のNST活動について

砂川市立病院 NST委員会

○山川美和、渡部直己、吉田行範、廣方玄太郎、鶴飼 亮、菱村祐介、野田 順
根本まり子、島本真純、伊藤郁子、新崎祐馬、吉田憲史、扇谷祐輝、玉川聖仁
吉野伸昭

29. NST薬剤師への教育活動～薬剤師NSTセミナーアンケートより考察～

洞爺温泉病院 薬局¹⁾、札幌西円山病院 薬剤部²⁾、天使病院 薬剤科³⁾

札幌医科大学附属病院 薬剤部⁴⁾、札幌東徳洲会病院 薬剤部⁵⁾、北海道大学病院 薬剤部⁶⁾
日本静脈経腸栄養学会北海道支部薬剤師WG⁷⁾

○水谷一寿^{1,7)}、阿部孝行^{2,7)}、伊藤 拓^{3,7)}、高橋和也^{4,7)}、早坂敬明^{5,7)}、笠師久美子^{6,7)}

30. 地域連携をめざした室登NST研究会“ツナガル”の活動報告Ⅱ

JCHO登別病院 NST¹⁾、市立室蘭総合病院 NST²⁾、大川原脳神経外科病院 NST³⁾
製鉄記念室蘭病院 NST⁴⁾、三愛病院 NST⁵⁾、老健母恋⁶⁾、白鳥ハイツ⁷⁾

○土屋浩子¹⁾、川畑盟子²⁾、石川圭吾³⁾、下國 心⁴⁾、安達輝重⁵⁾、篠原めぐみ⁶⁾
紺谷はな乃⁷⁾、中村誠志¹⁾、佐々木賢一²⁾

31. 北海道NST合宿における臨床現場への還元効果と今後の課題

北光記念病院 北海道NST専門療法士連絡会 N-PRO¹⁾

北海道NST専門療法士連絡会 N-PRO²⁾

函館新都市病院 北海道NST専門療法士連絡会 N-PRO³⁾

栗山赤十字病院 北海道NST専門療法士連絡会 N-PRO⁴⁾

○渡邊なつき¹⁾、小林やよい²⁾、新木 誠³⁾、高橋 豊¹⁾、浅田友紀⁴⁾

Session 5 14:49~15:31

座長 JCHO 登別病院 外科 中村 誠志

札幌清田病院 栄養課 藤原 朱美

32. 当院後期高齢者における大腰筋CT値評価

市立室蘭総合病院 外科¹⁾、臨床検査科²⁾、リハビリテーション科³⁾、栄養科⁴⁾、看護局⁵⁾
消化器内科⁶⁾

○宇野智子¹⁾、吉田ちひろ²⁾、河原林治郎²⁾、高橋利紀²⁾、吉田倫子²⁾、前田有一朗³⁾
川畑盟子⁴⁾、林 元子⁴⁾、早坂ゆかり⁴⁾、平岡彩子⁴⁾、古内久美子⁵⁾、岩城 薫⁵⁾
佐々木基⁶⁾、奥谷浩一¹⁾、佐々木賢一¹⁾

33. 残小腸50cmで在宅復帰が可能であった85歳の短腸症候群の1例

独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院 NST

○中西一彰、瀧川 博子、神崎博子、佐藤裕美、城宝深雪、古家 乾

34. 当科における腹腔鏡下結腸切除術に対するERASの導入

国立病院機構 北海道医療センター 外科¹⁾、呼吸器外科²⁾

○渋谷一陽¹⁾、大平将史¹⁾、本間直健²⁾、植村一仁¹⁾、大坂喜彦²⁾、高橋宏明¹⁾、伊藤美夫¹⁾

35. 新しい選択食導入による化学療法施行時の経口摂取量の検討

医療法人 為久会 札幌共立五輪橋病院 栄養科¹⁾、消化器内科²⁾

○大原千佳¹⁾、高橋千加¹⁾、大井雅夫²⁾

36. NPC/Nでみた当院におけるTPN処方設計の特徴

社会医療法人 康和会 札幌しらかば台病院

○小日向真澄、丸山えり子、星 百美、大嶋美保、保月隆良、吉田幸成

37. 回復期リハビリ病棟での栄養とリハビリ消費量のADLへの影響

勤医協中央病院

○立木 綾、檜山基矢、後藤 剛、和田耕一、今井由希、笹谷正吾、山口恭人、小林智香
川村いずみ、田中 翔、秋葉直人

閉会の辞 15:31~15:36